

県土整備部の職場紹介 No. 13

# 建築住宅課

県土整備部は、「県民から信頼される県土づくり」を目指して、各室課がそれぞれの役割を果たしています。各室課が取り組む課題や業務を毎月ご紹介します。

## 組織の概要

建築物の安全・安心（建築確認・耐震対策・ユニバーサルデザインなど）、岩手型住宅の普及、県営住宅の整備及び管理、建築士法・宅地建物取引業法に基づく登録及び指導、公共施設の設計・工事監理などの業務を行っています。

## 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備

- ・被災者のニーズに応じた災害公営住宅の早急な整備のほか、被災住宅の再建のため、建設費の補助や工事を請け負う工務店への支援など、被災者が安心して暮らせる住宅供給に取り組んでいます。
- ・応急仮設住宅の適切な維持修繕や、不要となった応急仮設住宅の速やかな解体撤去に取り組んでいます。
- ・地震に強い住まいづくりの普及啓発など、住宅の防災対策に取り組んでいます。



大船渡市下館下地区災害公営住宅（H28. 9月完成）

## 豊かで快適な環境を創造する基盤づくり

- ・災害公営住宅への移転後、新しい環境で速やかにコミュニティが形成できるよう、交流会開催などの支援を行っています。
- ・高齢者も生活しやすいバリアフリー化の推進や、環境に配慮し岩手県の地域特性も生かした岩手型住宅の普及、住宅・建築物の省エネ化など、良質な住宅供給に取り組んでいます。
- ・「岩手県公営住宅等長寿命化計画」に基づき、県営住宅の計画的・効率的な管理に取り組んでいます。



コミュニティ形成支援事業活動状況  
（H28. 10月 県営栃が沢アパート）

## 適正かつ効率的な行政運営の実施

- ・適切かつ迅速に建築確認審査を実施できるよう、情報共有や研修による能力向上に取り組んでいます。
- ・違反建築物への指導等により、法の適切な運用に取り組んでいます。
- ・空き家や公共施設等を有効活用し地域を活性化するため、人材育成や公民連携の体制づくりに取り組んでいます。



いわてリノベーションスタディ（H28. 11月）